

# 英語科

## 昨年度の授業改善プランの検証

- ・ペアワークやグループワークにより、口頭でのやり取りは苦手意識を減らすことができた。
- ・教科書以外の初見の文章を読む機会が少ないため、読む力に課題が見られる。
- ・自由英作文や自己表現の活動を通したが、初見の英文に対して苦手意識が見える。

## 今年度の学力調査について

### 分

#### <主体的に学習に取り組む態度>

全学年ともに口頭のやり取りにおいて主体的に取り組む態度が見られる。

#### <思考・判断・表現>

全学年ともに、聞くこと・読むこと・書くこと全てにおいて、目標値と同等もしくはやや下回った。

### 析

#### <知識・技能>

全学年ともに、聞くこと・読むこと・書くこと全てにおいて、目標値と同等もしくはやや下回った。

### 課

#### <主体的に学習に取り組む態度>

授業における英語学習への取り組みの姿勢は、年度とともに良くなっている。しかし、学校外での予習や復習の習慣が定着していない生徒が一定数いる。

#### <思考・判断・表現>

「書くこと」において、テーマにそってまとめた内容で説明する文を書くことに苦手意識が強い。また、初見の英文を読むことにあきらめてしまう生徒が多い。

### 題

#### <知識・技能>

「読むこと」において、英文の概要を読み取る力はあるが、詳細の理解や要点を理解したりすることに課題がある。

### 授業改善のポイント

#### <主体的に学習に取り組む態度>

初見のものを題材として扱い、ペアやグループワークなどの言語活動を通して、英語を話せた、聞けたという達成感を味わえるようにする。

#### <思考・判断・表現>

適切な英文を使って表現する力を育成する。読んだ後にアウトプットするなどの活動に取り組んでいく。

#### <知識・技能>

基本的な英文法の理解の向上のため、詳細の理解を目的とした読む練習を通して読解力の向上を図る。単語テストや単元テストをしながら基礎・基本的な知識と技能の定着を図る。また、発話の機会を多く設定し、発表練習に力を入れる。